



性的マイノリティ（多数派と少数派）について

民主主義とは、多数決のことではありません。しかし、物事を決める多くの際、多数決が採用されています。多数決で決めることが多い理由は、多くの人が納得しやすい決め方だからです。意見が一致しなかったときに多数決が採用されますが、その場合に必要なのは、少数意見との議論を尽くすことです。その上で、その少数意見を尊重し、その意見との妥協点を、最大限に見出していくことが求められます。それが民主主義のあるべき姿です。

注意すべきは、多数決で決められたことが、絶対的に正しい、という保証はない、ということ

す。また、多数派が「普通」という考えも誤っています。

LGBTQの人は、性的マイノリティ（性的少数者）と呼ばれることもあります。この、マイノリティ（少数者）という言葉は、例えば、「ひとは異性を好きになるのが普通だ」とか、「性のあり方は男と女だけ」という考えの人が多い（マジョリティ）、という意味での多数派に対する、考え方の上での少数派なのです。

LGBTQの人の割合を数値で表すことは、実際には不可能とされています。その理由として、当事者の多くは、人に知られたくない、存在を秘密にしたい、などという気持ちを持っていることによります。どうしてもそのような気持ちになるのか。それは、存在を打ち明けることで、嫌われてしまうのでは、などと悲観的に考えてしまうことが多いからです。

この背景には、LGBTQの立場や考え方を理解していない社会がある、ということです。また、LGBTQの存在がいないことになされている現状もあります。「周囲に存在しない」、ではなく、「存在に気付いていない」という

ことを知る必要があります。心の性（性自認）や、どんな人を好きになるか（性的指向）は、その外見からはわかりません。自分が知らないだけで、「いない」と思うのは、思い込みでもあります。

「性」とは、単純に男性や女性だけでなく、多様であること、すべての人が多様な性の中で生きている、ということを理解することが必要です。このことは、性的マイノリティであるかどうかに関わらず、他者を尊重する上でとても大切な考え方です。

【お知らせ】

○第4回ふれあい人権講座 「風船バレーボール（仮称）」

■日時 7月9日（火）

午後6時～

■会場 日南町総合文化センター

■講師 後藤厚見さん

（人権擁護委員）

障がいのある人、障がいのない人、高齢者、子どもに関わらずすべての人が参加することができます。チームとなつて協力しながら、風船を使い、競い合います。

みんなで協力して、レクリエーションの一環として、楽しく体を動かします。申込みは不要です。お誘い合わせのうえお越しください。

100円モーニング開催中！

■日時 7月22日（月）

午前9時30分～11時30分

■会場 人権センター

100円で朝食を提供しています。どなたでもご利用いただけます。7月16日（火）までに申し込みください。

7月の人権・行政相談所

■日時 7月12日（金）

午前9時～正午

■会場 子育て支援センター

人権や行政の仕事に関する相談をお受けします。予約は不要です。また、この日は、弁護士による「出張弁護士！なんでも相談」が午後二時から五時まで開催されます。弁護士相談をご希望の際は、前日までに予約が必要です。人権センターまで申し込みください。

